

8 防災行政

(1) 防災訓練の実施

市町村、防災関係機関と連携し、以下の訓練を実施した。

- ア 土砂災害・全国統一防災訓練（6月）
- イ 防災の日の訓練（9月）
- ウ 「短期的・局地的豪雨災害」対応訓練（9月）
- エ 緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練と連携した訓練（10月）
- オ 原子力防災訓練（10月）

(2) 大規模地震対策の推進

平成18年4月に策定した「岐阜県地震防災行動計画（平成18～22年度）」では、「自助・共助・公助」の考えのもとに、県民、事業者、市町村及び県が、それぞれの役割と責務を着実に果たしていくものとしており、以下の事業を実施した。

- ア 1:25000 岐阜県活断層図の作成
県内の活断層を記載した地図を作成。平成22年10月公表。
- イ 講演会「岐阜県の活断層」の開催
平成22年10月、岐阜市で開催。
- イ 啓発活動の実施
地震体験車の貸出及び地震体験装置が設置してある広域防災センターの活用を図るとともに、地震対応のマニュアル等を記載した啓発パンフレットを作成し広く一般に配布した。

地震体験車利用状況（過去5年の利用状況）

	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
利用者数（人）	30,841	24,080	24,509	23,367	25,763

※ 平成20年6月に新しい地震体験車導入

(3) 地域における「共助」の推進

平成20年6月に発生した岩手・宮城内陸地震の教訓等を受け、特に地域における防災力強化に関する政策を重点として、以下の事業を実施した。

- ア 防災運動会開催の促進
地域の運動会に防災の視点を取り入れた新しい地域防災力向上のイベントを開催し、幅広い世代の人々の防災活動の取組を促進。平成22年8月、大垣市総合防災訓練の一部に防災運動会として競技を実施。平成22年10月、岐阜県盲学校の運動会の種目の一部として実施。平成22年11月、瑞浪市の自治会で開催。
- イ 災害図上訓練の指導者養成研修の実施
住んでいる地域の過去の災害発生場所や危険箇所のほか、避難所や要援護者の確認など、地域の防災に関する重要な情報を地域で共有する訓練を促進。平成23年2月、岐阜市と大垣市で実施、参加者177人。

(4) ボランティア活動の活性化

災害時のボランティアを育成するため、災害ボランティアコーディネーター養成講座を実施した。平成23年1月、岐阜市で実施、参加者41人。

(5) 局地的豪雨対策の推進

平成22年7月15日から16日にかけて発生した集中豪雨災害「7.15豪雨災害」の検証を行うため、「7.15豪雨災害検証委員会」を設置し、様々な視点から検証を行った。9月に報告された検証結果を踏まえ、県の災害対策マニュアルの見直しや、短期的・局地的豪雨災害に対応した訓練などを行った。